

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	特別養護老人ホーム白寿園 居住棟	階数	地上2F		
建設地	熊本県荒尾市一部字鴻巣2086番2、	構造	S造		
用途地域	都市計画区域内	平均居住人員	180 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2020年2月4日		
敷地面積	14,221 m ²	作成者	蔵原		
建築面積	3,666 m ²	確認日	2020年2月4日		
延床面積	5,309 m ²	確認者	柳田		

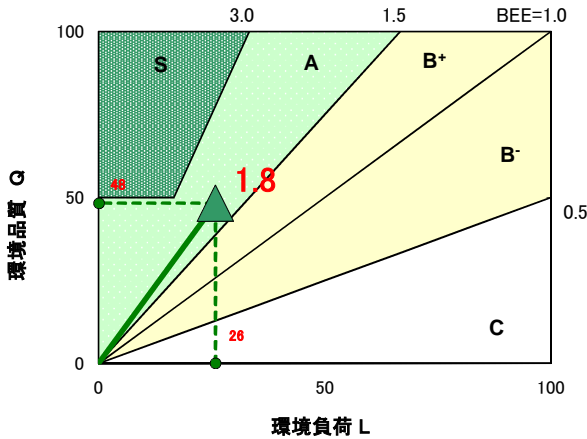
1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 1.8

$$\text{BEE(環境効率)} = \frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$$



■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

52%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

89

評価点

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

107.5

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

71.2

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

75.0

【重点事項4】 循環型社会の実現

84.7

■ 熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホーム白寿園 居住棟	階数	地上2F
建設地	熊本県荒尾市一部字鴻巣2086番2	構造	S造
用途地域	都市計画区域内	平均居住人員	180 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2020年2月4日
敷地面積	14,221 m ²	作成者	蔵原
建築面積	3,666 m ²	確認日	2020年2月4日
延床面積	5,309 m ²	確認者	柳田



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8 ★★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★★ B: ★★★★★★ C: ★★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 52% (95 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 52% (95 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 52% (95 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項

重点事項総合評価

評価点 = 89

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 評価点 = 107.5	重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = 71.2
重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 評価点 = 75.0	重点事項4: 循環型社会の実現 評価点 = 84.7

重点事項の評価(レーダーチャート)

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

道路面からの圧迫感を軽減させるため、2階部分は1階平面より奥にオフセットさせた。
周囲との景観の調和を図るため、周辺には緑地帯を設けた。

Q1 室内環境

F☆☆☆☆の建材を使用した。
全館を禁煙とし、施設内の空気質環境に配慮した。
地中熱換気を採用し、温湿度管理を行い室内環境に配慮した。

Q2 サービス性能

階高にゆとりをもたせ、設備配管等のメンテナンス性を高めた。

Q3 室外環境（敷地内）

敷地周辺部および中庭に緑地を設け、暑熱環境に配慮した。

LR1 エネルギー

ガラス面の主な部分にLow-Eガラスを採用し、遮熱性を高めた。
地中熱を利用しエネルギー消費削減に配慮した。

LR2 資源・マテリアル

断熱材はすべてノンフロン建材を使用した。

LR3 敷地外環境

敷地内に適切な駐輪駐車スペースを確保した。
車両の出入口はゆとりをもたせ、交通不可軽減に配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称

特別養護老人ホーム白寿園 居住棟、管理・リハビリ・デイサービス棟新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		89
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				107.5	0.40	43.00
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	5.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	4.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				71.2	0.20	14.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				84.7	0.20	16.94
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	5.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

CASBEE-建築(新築)2016年版
 特別養護老人ホーム白寿園 居住棟、管理・リハビリ・デイケア・バス棟新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		評価点		重み係数		全体	
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境			0.40						3.0
1 音環境		2.6	0.15	3.0	1.00				2.6
1.1 室内騒音レベル	48dB(A):待合スペース、40dB(A):診察室、35dB(A)、病室	3.0	0.40	4.0	0.40				
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40				
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20				
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20				
2 温熱環境		2.2	0.35	2.3	1.00				2.2
2.1 室温制御		2.2	0.50	2.5	0.50				
1 室温		1.0	0.38	3.0	0.57				
2 外皮性能		3.0	0.25	2.0	0.43				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30				
3 光・視環境		3.6	0.25	3.3	1.00				3.5
3.1 昼光利用		5.0	0.30	4.2	0.30				
1 昼光率	【共用部】対象室なし【宿泊部】1.25%以上(病室:2.06%)	-	-	5.0	0.60				
2 方位別開口			-		-				
3 昼光利用設備	【共用部】光庭の設置	5.0	1.00	3.0	0.40				
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30				
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00				
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15				
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25				
4 空気質環境		3.9	0.25	3.6	1.00				3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63				
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材の採用	4.0	1.00	4.0	1.00				
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38				
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能			-	3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33				
4.3 運用管理		5.0	0.20		-				
1 CO ₂ の監視			-		-				
2 喫煙の制御	建物全体が禁煙	5.0	1.00		-				
Q2 サービス性能			0.30						3.0
1 機能性		2.5	0.40	4.0	1.00				2.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60				
1 広さ・収納性	多床室8㎡/床以上		-	5.0	1.00				
2 高度情報通信設備対応			-		-				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-				
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.5	0.40				
1 広さ感・景観	天井高:2.5m以上(2.55m)		-	4.0	0.50				
2 リフレッシュスペース			-		-				
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50				
1.3 維持管理		3.5	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計	②③防汚性の高い仕上げ、 ④埃の溜まりにくい設計:壁掛け小便器 ⑤1時扉と2時扉の距離確保 ⑥維持管理の異なる床材を接近させない ⑩防錆対策	4.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-				
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30						2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	B以上を使用しEは不使用	5.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20		-				
2.4 信頼性		2.8	0.20		-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-				
3 電気設備		3.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-				
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-				

3 対応性・更新性		3.3	0.30	3.8	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	4.6	0.50	
1 階高のゆとり	【共用部】階高:4.2m 【宿泊部】階高:4.0m	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ	【共用部】比率:0.、2【宿泊部】比率:0.13	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		2.6	0.40		-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性		1.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	・I2) 県産材の使用・II3) 歩道空地などのスペース確保 ・III5) 中庭(光庭)設置・IV6) 防犯性の配慮	4.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.5
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.65	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用	光庭(トップライト) 地中熱利用	4.0	0.10		-	4.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]= 0.43	5.0	0.50		-	5.0
4 効率的運用		3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング	デマンド管理	4.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制		2.0	0.50		-	
集合住宅の評価			-		-	
4.1 モニタリング			-		-	
4.2 運用管理体制			-		-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護		3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.7	0.60		-	3.7
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	タイル(ストーンエッジ)、OA707(ニチアスシグマ707)、パーテイルボード(フリー707CP-F)	5.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS下地、置き床	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20		-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70		-	
1 消火剤		-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)	硬質ウレタンフォームA種1H吹付	4.0	0.50		-	
3 冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮	LCCO2排出率:52%	4.9	0.33		-	4.9
2 地域環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制	駐車・駐輪スペースの確保、管理用車両スペースの確保、導入路の配慮	5.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1 騒音		3.0	1.00		-	
2 振動		-	-		-	
3 悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制			-		-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制		4.4	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドライン、広告物照明の取扱の過半を満足	5.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	